

Life In Sopron

— ショプロンでの生活 —

日本語語学指導員現地レポート VOL.6

第9代日本語語学指導員 栗原 拓実さん

花輪出身。市の外国人向け日本語教室での講師経験を生かして渡航。

ブログ公開中 <http://ta93sopron.blogspot.jp/>
詳しい様子はこちらで紹介しています。ぜひご覧ください。



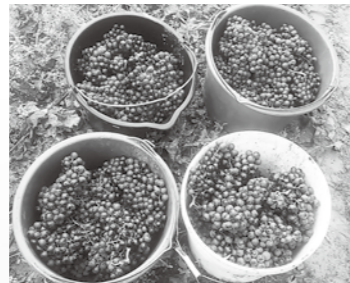
火の見の塔と市役所

鹿角も今は雪が多い時期だと思えますが、ショプロン市も今年は例年より早い11月に初雪が降り、寒さの厳しい日が続いています。
そんな初雪が降る前に日本語教室の受講生から紹介してもらったぶどう農家で、ぶどうの収穫を体験してきたのでお伝えします。
ショプロン市郊外や周辺の村には多くのぶどう畑が広がっていますが、日本のぶどう畑のイメージとは違い、高さ2メートル前後の木が一直線に並び、100メートルぐらい並んでいます。
収穫は、作業員が同じ列のぶどうを一つ一つ手で収穫し、バケツがいっぱいになったらトラクターに積んで行くという作業

の繰り返しです。途中、収穫したぶどうを味見させてもらいましたが、食用とは違い、種が多く果肉が少なかったのですが、とてもさわやかな甘みを感じられました。
ハンガリーのワインと言えば、世界三大貴腐ワインの一つに数えられるトカイ産の「アスー・エッセンシア」という白ワインが有名ですが、ここショプロン市では、ハンガリーで最も古くからワイン用のぶどう栽培が行われており、ショプロンの気候と土壌で作られた赤ワインは酸味が強くタンニンも豊富なので、このしっかりとした味わいに多くのファンもいるそうです。
今回は収穫のみでしたが、機会があったらワイン造りの工程も体験してみたいと思います。
さて、日本語教室ですが、去年9月から12月にかけて20人以上の方から新たに応募がありました。そのほとんどが中学生・高校生とあって、若い世代の日本語・日本文化への関心の高さがうかがえ、うれしく思うと同時に日本語を教えることに対し、身が引き締まる思いです。



日本語教室の新規入学生



バケツいっぱいのぶどう



ぶどうを収穫する様子

まなびいウィンドウ

みんなで楽しく学ぼう！生涯学習 教育委員会生涯学習課 ☎30-0292

marcot マナビイ

生涯学習の“学ぶ、とみつばちの”Bee.を合わせて名づけられた生涯学習のマスコットマークです。



生涯学習に取り組んでみませんか

生涯学習とは、心の豊かさや生活向上のため、生涯にわたって自発的な意思に基づいて行う学習です。現在、本市では15人の生涯学習奨励員が、皆さんの身近なところで学習活動を奨励・援助しています。



今回は、その中から3人の活動を紹介します。

クラフトバンド (紙バンド) 岩間 和子さん

クラフトバンドサークル「ひまわり」は、月に2回、18時から花輪市民センターで活動を行っています。



クラフトバンドを編み上げてバッグや名刺入れなどの小物や人形などで楽しみながら作っています。

夕方から活動を行い、日中仕事をしている人でも気軽に参加できるように工夫しています。さらに活動の幅を広げて、楽しみながら頑張っていきたいです。

昔話・語り 山口 京子さん

「鹿角民話の会 どんとはらえ」は、鹿角市と小坂町で年に3回開催する「鹿角のむがしっこの集い」や、湯瀬温泉郷の宿泊施設で定期的に行われる「鹿角昔話りの夕べ」のほか、さまざまな要請に会員が出向き、鹿角弁による「昔っこ」を語っています。



聴かれた方が楽しかった、聴いてよかったと思えるような語りを心がけ、手遊びや唄を交えながら、自分らしさを生かした語りを行っています。

書道教室 神田 政子さん

平成5年から20年余り続けている書道教室は、現在毎月第2・4水曜日の13時から15時まで、八幡平市民センターを会場に開催しています。最高齢で85歳のメンバーもいますが、自宅でも熱心に練習し、立派な作品を書いています。



市民センターの廊下やホールに作品を展示するほか、場所を変えて移動学習を開催するなど、集まって話し合ったりしながら書道を楽しんでいます。

2月の声かけ運動 5日月 7時15分〜8時

第46回鹿角市かるた選手権大会
日時 2月11日(日) 9時30分〜(受付8時30分)
場所 文化の社交流館 コモッセ
※2月1日(日)から練習会を開催します。詳しくは、お問い合わせください。
生涯学習課文化財班 ☎30-0294

歴史民俗資料館 ☎22-7288
展示期間 2月1日(日)〜3月18日(日)
会場 特別展示室
開館時間 9時〜17時 ※月曜休館。2月12日は祝日のため開館し、翌日休館となります。
入館料は無料です。ぜひご来館ください。

企画展 鉦山を支えた人々の生活

昭和30年代の暮らしや祭り、懐かしの学舎や鉦山関連施設など、尾去沢鉦山を支えた人々の生活を写真展示で紹介いたします。入館料は無料です。ぜひご来館ください。